

「中学生との語る会」

日時：10月15日（日） 午前10時から（会 場：区役所1001会議室）

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、20年後、「和」を意識した町になってほしいです。</p> <p>なぜなら、台東区は下町といわれるだけあり、浅草をはじめとして神社やお寺が多くあります。それを活かして、日本らしい「和」が感じられる町にすると観光で来られる方も増え、より栄えていくと思うからです。たとえば、「和」を体験できるお店を増やしたほうが良いと思います。風鈴作りや藍染め体験、金魚すくいのお店などです。</p> <p>江戸時代後期から繁華街として栄えてきた台東区をこの先も続けていけるように、より万人に好かれる町になってほしいです。</p>	<p>台東区は神社やお寺、飲食店など、古くから受け継がれてきた歴史や文化が多く残っています。そのために今も多くの観光客の方が訪れているのだと思います。</p> <p>「和」を意識したまちということですが、区には「景観まちづくり協定」というものがあり、伝法院通りなど、商店街や地元の方が主体となり、景観を大事にする取り組みを行っています。</p> <p>また、江戸文化を含め、いろいろな体験ができるお店を、冊子「台東区手作り工房マップ」に掲載しています。この中には、「風鈴作り」や「藍染め体験」のほかにも、「茶道体験」や伝統工芸の製作体験などもあり、遠方からの修学旅行生などにもご活用いただいています。</p> <p>これからも、区民の皆さんはもちろん、広く皆さんに台東区を好きになってもらえるよう、頑張っていきたいと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>僕は20年後、地域の人々の交流が増え、今よりももっと地域の方々に寄りそうことができるようになってほしいです。</p> <p>ほかにも台東区に引っ越してくる方々、今、台東区にいる方々が笑顔であふれる台東区になってもらいたいです。高齢者の方々が安全・安心に暮らすことができるように、まず、身近なところから努力して行ってほしいです。</p> <p>そして、台東区の伝統や歴史を大切にすることができるよなったり、ごみがなく、きれいな台東区と言われるようにたくさんの方がいろいろなボランティアを行い、互いを大事にできる台東区になって行ってほしいです。</p>	<p>区では、高齢者の方々が安全・安心に暮らすことができるよう「高齢者地域見守りネットワーク」事業を行っています。これは、地域の皆さんや警察、お店、会社などに協力してもらい、高齢者を地域全体で見守っていくというものです。</p> <p>また、ボランティアなど、たくさんの人たちに区がきれいになるように取り組んでもらうことも、とても大切なことです。</p> <p>現在、区でも、地域で清掃活動を行う方々に「大江戸清掃隊」に登録してもらい、清掃用具等を支給してまちの美化に取り組んでもらっています。皆さんの中にも、ボランティアで清掃活動を行っている方がいると思いますが、「大江戸清掃隊」は個人でも登録することができるので、ぜひ登録してもらい、今後も台東区のまちの美化と一緒に取り組んでもらえたらと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私はどんなところでも自転車が通りやすい街になってほしいです。</p> <p>私は自転車でよく出かけていて、浅草や上野などの観光地は人が多く、自転車で通りにくく感じます。本当は車道を走るべきだと思いますが、車も多く、浅草では人力車などもあるため車の邪魔になってしまったり、少し危険だったりするのではないかと思います。なので、歩道の中で自転車が通れる場所があれば、自転車もスムーズに移動ができ、歩行者とお互いに不満なく過ごせると思います。</p> <p>駐輪禁止のところ自転車がたくさん置いてあったり、道路に置いてあったりする自転車もなくなってほしいと思います。</p>	<p>自転車は、現在の法律では原則、車道の左端に寄って走ることが決まっています。また、歩道通行可の標識・標示があるところを通行するときや、安全を確保するためにやむを得ず歩道を通行するときは、車寄りの部分を徐行して、歩行者の通行を優先しなければなりません。自転車による事故を起こさないためにも、必ず交通ルールを守っていただくようお願いします。</p> <p>また、放置自転車の対策については、現在区でも取り組んでいるところです。特に多く自転車が放置されてしまう駅周辺では、指導員が巡回を行い、撤去を行っています。</p> <p>今後も、皆さんが安全に移動できるような取り組みを進めていきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、浅草や上野だけでなく、桜橋側の今戸や橋場にも観光地となるような場所や施設ができれば良いなと思います。</p> <p>以前テレビで「日本の勉強になる美術館博物館ランキング」で、上位3位全てが上野の施設だったのを見ました。そのような部分をもっと全面的に台東区でアピールしても良いのではないかと思います。</p> <p>また、私が国立西洋美術館に行った際に、改めて本物に触れることの大切さを実感したので、橋場や今戸のほうにも美術関連の施設を作れば台東区がさらに美術に親しむことのできる町になって、人が集まれば豊かにぎやかな町になるのではないかなと思いました。</p>	<p>台東区は、上野や浅草をはじめとして、様々な文化資源があふれており、その魅力を伝えるために区でも取り組んでいるところです。特に上野の山には様々な文化施設があり、今の時期は数々の文化・芸術イベントが開催されています。</p> <p>また、美術館や博物館といった施設だけでなく、まちの中にも多くの文化資源があります。</p> <p>今年、作家の池波正太郎氏は、生誕100年を迎えました。台東区に非常にゆかりのある方で、作品の舞台も区内にも多く存在しています。現在、作品の舞台となった場所に「高札」という江戸時代の案内板をモチーフにしたものを設置し、その地を紹介しています。</p> <p>さらに橋場には、江戸の発明王として有名な「平賀源内」のお墓や、高さ3mを超える「おぼけ地蔵」、能や歌舞伎の『隅田川』という作品で有名な「妙亀塚」もあります。11月には、「妙亀塚まつり お化け地蔵ご縁日」も開催されますので、ぜひ訪れてみてください。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、台東区民が地域のイベントや行事に気軽に参加できるような区になってほしいです。</p> <p>先日、台東区で実施された「台東区協働事業レッツボウサイプロジェクト」の「ボウサイおそうじ大作戦！」を紹介した動画を学校で見ました。地域の危険箇所を見て周りながら清掃活動をするというイベントで、参加してみたいと思えるものでした。</p> <p>現在、区のホームページで告知されていますが、区の掲示板にお知らせを貼るなど、もっといろいろな方法で知らせるようにしていけば、参加者は増加し、区についてもっと深く知ることができると思いました。</p>	<p>「ボウサイおそうじ大作戦！」の動画は、関東大震災から今年で100年の節目の年であり、改めて防災意識を持ってもらうために作成したものです。そのため、皆さんにも9月1日に学校で見てもらったと思います。</p> <p>今回その動画を見て、区民が地域のイベントや行事に気軽に参加できるように、いろいろな方法で周知していくようにということで、区でも現在、イベントや行事の情報を、広報「たいとう」や区公式ホームページ、LINEなどのSNSも使って発信しています。</p> <p>皆さんのような若い方々に区の情報を届けるためにどのようにしたら良いか、私たちも日々考えているところなので、今後の参考にさせてもらいたいと思います。</p> <p>また、動画で見るとそのイベントの様子などがよくわかります。台東区でも公式のYouTubeチャンネルがあり、様々なイベントや取り組みの動画をあげていますので、ぜひチャンネル登録をしていただき、ご覧いただければと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私はお年寄りの方や小さい子供にも住みやすい街になってほしいと思います。</p> <p>そのために、お年寄りの方は遠出が大変なので、近場にある商店街を活用したり、安心してお散歩ができる公園があったりしたら良いと思います。また、小さい子供たちがおもいきりボールや遊具で遊べる公園があれば良いと思います。</p> <p>このように、お年寄りから小さい子供たちまでみんなが楽しく安心して過ごせる台東区であってほしいと思います。</p> <p>私自身も少しでも力になれるような大人になっていきたいと思います。</p>	<p>お年寄りや小さな子供が住みやすいまちは、誰にとっても住みやすいまちということで、とても大事なことです。</p> <p>台東区には、それぞれ特徴をもった公園や児童遊園がたくさんあります。たとえば、ボール遊びができるスポーツコーナーがある公園や、健康づくりのための遊具がある公園もあります。</p> <p>区では利用者や地域の皆さんからの意見を聞きながら、さらに魅力ある公園にする取り組みを行っています。</p> <p>また、区では、「台東区バリアフリー基本構想」を策定しています。この構想では、段差を無くすといった施設の整備だけでなく、子供からお年寄りまで、障害のある人もない人も、全ての人がお互いに助け合い、思いやりの心をもって相手に接することを意味する「心のバリアフリー」にも触れています。</p> <p>皆さんも「心のバリアフリー」を意識して、一人ひとりが思いやりの心を持つことで、もっと素晴らしいまちになっていくと思いますので、ぜひご協力をお願いします。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私たちの学校では、地域の清掃をする「大江戸清掃隊」という活動を行っています。そのときに、たばこのごみが多いということが気になりました。</p> <p>ほかにも学校の登下校中に、たばこを吸っている人が多く見られます。その際に、ポイ捨てする人がいるのかなと考えました。</p> <p>そこで、私たちの中学校の周辺を禁煙にしてほしいです。大江戸清掃隊を1週間後にもう1度行った際にも、たばこのごみがあったので、禁煙にしないとごみは減らないと考えています。</p>	<p>現在、区の条例で、区内全域でのごみのポイ捨てと歩きたばこを禁止しています。また、朝の通勤・通学の時間帯である7時から9時の2時間は、喫煙を禁止しています。このことを周知するため、道路に路面標示シートを張ったり、喫煙等マナー指導員が巡回して声かけを行ったりしていますが、皆様にご迷惑を掛けている状況です。</p> <p>今回お話のあった中学校の周辺については、喫煙等マナー指導員の巡回を強化し、たばこの吸い殻ごみを拾い、ポイ捨て禁止の指導を行っていきます。</p> <p>また、台東区では、たばこを吸う人と吸わない人の両方に配慮した取り組みが必要だと考えて、公衆喫煙所を整備するなど分煙化を推進しています。一部の地域を時間指定なく禁煙にすると、その他の地域に喫煙する人が集まってしまうなどの課題がありますが、これからもどんな方法が良いのか考えていき、喫煙マナーを守っていただくよう取り組んでいきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、台東区がさらに活気のある場所になってほしいです。</p> <p>今でも朝顔祭りや三社祭など、にぎやかな場所ではあると思います。しかし、私たち生徒と地域の方々との交流が少ないと思いました。なので、私たち生徒と地域の方々でイベントを行いたいです。</p> <p>たとえば、地域の方々と一緒に清掃活動をするなど、親睦を深めることのできるイベントを行いたいです。このようなイベントを行えば、地域の方々の魅力やまだ知らない台東区のことなども学べると思っています。</p>	<p>「活気あるまち」にするためには、住民同士の交流はとても大事なことです。お年寄りの方も若い方も一緒に活動することで、お互いにたくさん元気をもらえるはずですよ。</p> <p>町会での清掃活動や防災訓練などは、同じ地域に住む人同士が世代を超えて交流できる、良い機会だと思います。自分の住む地域の町会の活動に興味を持って、参加してみてください。</p> <p>そして、皆さんのような若い世代の人たちが積極的に参加してくれるようになれば、台東区もより活気ある区になると思いますので、一緒に活気ある台東区を目指して頑張りましょう。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、台東区で暮らす人だけでなく、台東区に訪れる人、年齢や国籍関係なく、全ての人が幸せな時間を過ごすことができる街になってほしいと思います。</p> <p>その視点から台東区の施設がどの人にも優しい気遣いのある施設であることを望みます。たとえば、海外の人だからと特別扱いせず、自然に接することができたり、挨拶をしたりすることです。今は街中で知らない人から挨拶をされると少し驚いてしまいます。しかし、挨拶をすることが当たり前となり、すれ違いぎわに挨拶ができるようになれば、朝・昼・晩気分よく過ごせ、日々いろいろな人との出会いができると思います。</p> <p>お互いがお互いのことを思いやれる台東区でありたいです。</p>	<p>私も「誰もが幸せな時間を過ごせる台東区」になってほしいと思っています。</p> <p>「優しい気遣いのある施設」のお話がありましたが、浅草文化観光センターは観光で台東区を訪れる方々の窓口となる施設として、どんな人にも満足してもらえよう、複数の言語（日・英・中・韓）での観光案内や、バリアフリートイレなどを設けています。</p> <p>さらに、国内外問わず、観光客の方により満足してもらえよう、ボランティアの方々にご協力いただき、ガイドツアーを実施しています。</p> <p>また、挨拶は非常に大事なことです。私も気持ちの良い挨拶をしてもらえると、とてもうれしくなります。お互いのことを思いやるコミュニケーションの第一歩として、皆さんもぜひ挨拶を大事にしてください。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は台東区が豊かな区になってほしいと思いました。理由は、公共サービスを充実させるには税収を増やす必要があるからです。</p> <p>税収を増やすには、一人ひとりの収入を増やしたり、健康寿命を延ばして活躍してもらったり、人口を増やしたりする方法があります。一人ひとりの収入を増やす方法が1番良いと思います。</p> <p>たとえば、台東区は他の地域に比べて伝統工芸品に関する仕事が多いと思います。伝統工芸品の価値をもっと高く評価してくれる人、たとえば、海外の富裕層に買ってもらうなどです。</p> <p>このような施策を区と実施し、台東区が豊かな区になってほしいと思います。</p>	<p>税収を増やす方法を考えていただきましたが、どれも非常に効果のある方法だと思います。</p> <p>その中でも、今回は伝統工芸に関するご提案をいただきました。台東区では様々な種類の工芸品を作る職人さんたちが今も活躍していて、台東区の特徴ある産業の1つです。</p> <p>区では、伝統工芸品を含め、区内中小企業が海外に商品を販売できるよう、新たな販売ルートを開拓する支援などを行っています。</p> <p>また、ウェブサイトをはじめ、InstagramやFacebookでも区の伝統工芸の魅力を発信しており、海外の方からも好評です。</p> <p>こうしたことをきっかけに、国内外の方に台東区のファンになってもらうことで、もっと区が豊かになっていくことを期待しています。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が20年後になってほしい台東区は人と人の結びつきがとても強いまちです。</p> <p>よく台東区生まれの人は大人になっても台東区に住んでいると聞きます。その理由の1つは台東区民の優しさや楽しさだと私は思います。</p> <p>台東区は近所や学校などで挨拶が盛んだり、道を聞くと心よく案内してくれたりする方が多くいると思います。さらに、下町ならではの祭りや地域のイベントでたくさんの交流もあります。そこでは多くの人たちが文化に親しみながら、お互いに気遣いあって楽しんでいる様子が多く見られます。</p> <p>そんな台東区だからこそ「誰かが困っていたら助ける」、そして時には「自分自身も助けてもらう」、そういった人と人の結びつきが今よりもさらに強いものになってほしいと、私は思いました。</p>	<p>台東区は伝統ある祭りなども多く、人と人のつながりがとても強く感じられます。そのように根付いた区の特徴をさらに強めていくことは、素晴らしいことだと思います。</p> <p>「お互いに助けあえる社会」とは、安全・安心に過ごすために欠かせないことです。このような考えを「共助」と言います。</p> <p>一方、区では、区民の皆さんが安全・安心に過ごせるようにサポートをする「公助」の役割を担っており、皆さんの困っていることを解消できるように努めています。しかし、「公助」だけでは手の届かないことがあるのも事実です。</p> <p>そのため、ぜひ皆さんも「共助」の意識を持ち、これからも人と人のつながりを強めていただきたいと思います。特に災害時などは、住民同士の助け合いがとても大事です。そのために、町会などでは防災訓練なども行っています。</p> <p>今年に関東大震災から100年という節目の年でもあり、ぜひ普段の生活での「つながり」や「助け合い」を意識して、いざというときに自分のことだけではなく、周りのことも考えて行動していただけたらと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が考える未来の台東区は、四季折々のお祭りがあり、どの季節に行っても楽しめる台東区です。</p> <p>お祭りを開催するとごみは必ず出ます。ごみ箱を設置しても道路にごみが落ちているのを見かけます。私はお祭りが終わった後に、来ていた人たちとごみ拾いをすると良いと思います。ごみの量が多いと、拾う人も気をつけようと思えると考えます。</p> <p>また、清潔感があれば観光客も増え、台東区の良いところを多くの方々に知ってもらえると思います。</p>	<p>台東区は三社祭や隅田川花火大会など、1年を通して様々なお祭りや行事が行われています。</p> <p>人が多く集まると、どうしてもごみが散らかったりしてしまいます。そうしたごみを行事に参加した人たちが協力して拾うということは、とても素晴らしい考えだと思います。</p> <p>区でも皆さんが気持ちよく生活できるようにまちの美化に励んでいますが、皆さんと協力して、みんなで一緒に行うことが1番大事なことだと思いますので、これからもよろしくお願いします。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>以前、私は町会の「ストリートパーティー」という行事に参加しました。その行事では、小さい子も、小中高生も大人も、高齢者も、皆が楽しそうに過ごしていました。私も普段あまり関わらない方とも楽しく会話をしたり、遊んだりできました。</p> <p>私は、たとえ日常の中で地域の方と関われなくても、このような町会や地域での行事を次の世代に引き継いでいき、たくさんの人と関われる場を残していく台東区になってほしいと思います。</p>	<p>小さいお子さんからお年寄りまで、様々な世代の人が一緒になって楽しめる行事というのは、とても素晴らしい体験だったと思います。</p> <p>町会や地域の行事は、町会の大人の方たちが何か月も前から企画をし、準備をして行われています。こうした催しの運営が、今度は皆さんに引き継がれていくことで、たくさんの方が楽しめる行事がいつまでも守られていくはずですよ。</p> <p>ぜひ今後も地元の行事に参加し、いろいろな経験をしてみてください。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、20年後の台東区が今よりも活気のある町になってほしいと思います。</p> <p>台東区は浅草や上野など、台東区民の方でも観光客の方でも楽しめるような観光地が多くあることが魅力だと思います。私は、台東区の魅力がより多くの人に広まって、今より活気あふれる町になってほしいです。</p> <p>夏休みに浅草に行った際、海外からの観光客がとても多いことに気がつきました。コロナ禍になる前の浅草の活気が戻ってきたようで、うれしかったです。</p> <p>海外の方だけでなく日本国内からの観光客の方にも、もっと台東区の魅力を知ってもらうためには、たくさん魅力をわかりやすく発信することも大切だと思います。</p> <p>しかし、私は台東区に住んでいる人など身近な方々が、台東区を知ることが必要だと思います。地元の人が台東区の魅力を知ることによって、観光客の方々に魅力を伝えられる人が増え、情報の幅も広がると思います。</p> <p>学校の授業では、台東区についての調べ学習をすることがありますが、そのような機会を増やしていくことで、台東区の魅力がもっと広まり、活気あふれる町になると思いました。</p>	<p>学校の授業でも調べ学習などをしたということで、台東区を知ることが台東区の魅力をいろいろなところに発信することにつながると思います。</p> <p>今日は、台東区の文化施設の4館共通入館券をお配りしています。きっと訪れたことのない施設もあり、今まで知らなかった台東区の魅力に触れられる機会になると思いますので、ぜひこの券を使って台東区の新たな魅力を発見してみてください。</p> <p>また、区では「学び」の視点で、区内に色濃く残る江戸の歴史と文化にせまる、「江戸・たいとう学」を実施しています。講演会や寛永寺の散策ガイドツアーなど、普段の生活では気がつくことのできない区の魅力を専門家の方から学べる素晴らしい機会だと思いますので、こちらもぜひ参加してみてください。</p>